

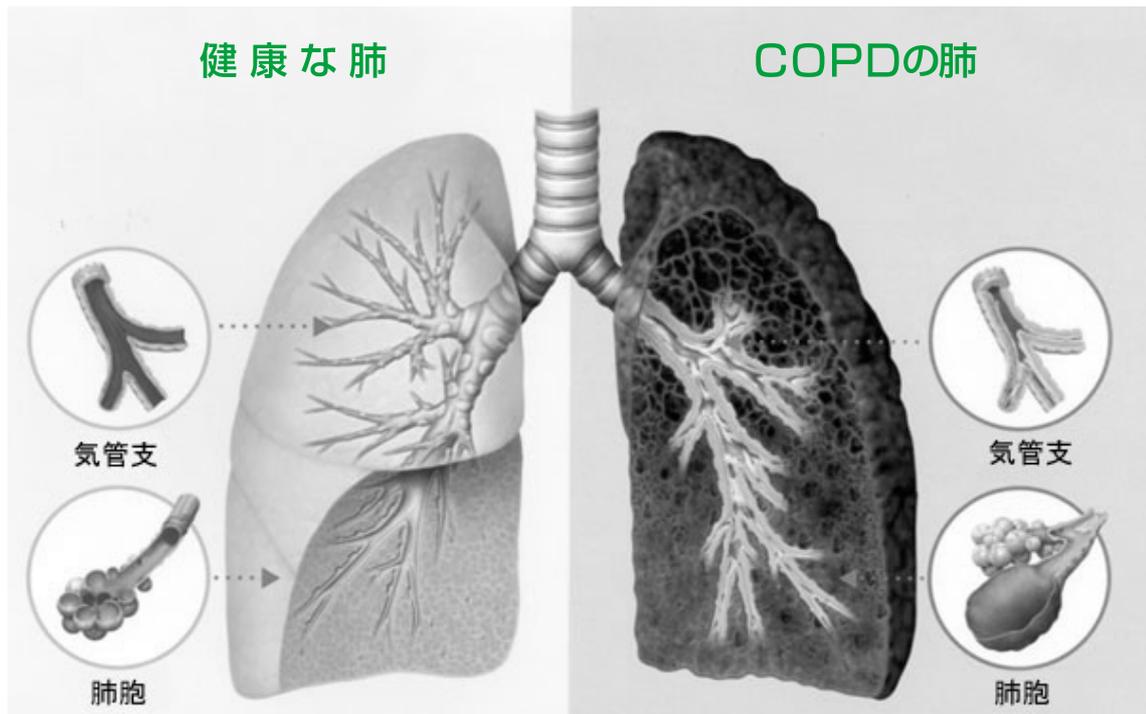


## 慢性閉塞性肺疾患（COPD）のお話

「慢性閉塞性肺疾患」という病気を知っていますか？ 一般的には40歳以上の男性に多い病気です。著名人としては、桂歌丸さん、藤田まことさん、和田アキ子さんらがこの病気を罹っています。

### 慢性閉塞性肺疾患とは？

タバコ煙を中心とする有害物質の吸入により肺に炎症が起こり、肺が進行性に壊れてしまう病気です。患者の90%は長年の喫煙者であり“肺の生活習慣病”ともいえます。受動喫煙でも同様の危険性があります。



### どんな症状？

咳・痰、息切れ、呼吸のたびにゼーゼー・ヒューヒューといった音がしたりします。病気が悪化すると、1秒間に吐き出せる息の量（1秒量）も低下し、普段の生活でも息苦しくなってきます。

### 治療について

一度壊れた肺は戻りません。「今より悪くしないこと」が大切なことで、1日でも早く治療を開始しなければいけません。治療としてはまず禁煙、呼吸を楽にする吸入薬、痰の切れを良くする飲み薬などがあります。それでも苦しい場合は、自宅で酸素を吸う治療もあります。ただの風邪が命取りとなることもあり、うがいや予防接種も大切です。

### 禁煙外来のすすめ

喫煙指数というものがあります。『喫煙指数』＝1日に吸うタバコの本数×喫煙している年数です。喫煙指数が700を超えると、慢性閉塞性肺疾患だけでなく、咽頭がん・肺がんなどの危険性も高くなります。そこで、自分と家族の健康を守るために禁煙を決意された方のお手伝いをすべく、当院には禁煙外来があります。飲み薬・貼り薬を使って、2～3ヶ月で禁煙に取り組みます。専任医師が、じっくり話を聞いて一緒に禁煙を目指します。

禁煙外来は毎週金曜日の午前です。興味のある方はぜひお問合せください。



禁煙と1秒量の関係

(Fletcher C et al; Br Med J 1:1645,1977)

